

# 研究会レポート

## 技術交流研究会 (社)日本技術士会北海道支部

### 第103回 研究会報告

第103回技術交流研究会が、平成18年3月2日(木)に株式会社ドーコン会議室で開催されました。

当日は、(社)日本発明協会北海道支部より堀川代志郎専務理事をお招きしてご講演いただくとともに、講演会終了後には懇親会を行いました。

#### ■第103回 講演概要

「企業経営と特許」

(社)日本発明協会北海道支部

専務理事 堀川代志郎 氏

#### ◆講演要旨

知的財産権(IP: Intellectual Property)とは「人間の知的活動によって生じた無形の財産にかかわる権利の総称」で、特許権のほか実用新案権、意匠権、商標権、著作権などがある。このうち、「新規の技術で社会の発展に貢献するとみられる発明に対して、それを公表する見返りとして一定期間与えられる独占実施権である特許権は、コンサルタントエンジニアにとっては極めて重要である。

政府はわが国の産業競争力の強化に向けて、平成14年2月には「知的財産戦略会議」を発足させ、その検討結果を踏まえて平成14年7月に「知的財産戦略大綱」を発表した。

「知的財産戦略大綱」では、知的財産に基づく製品やサービスの高付加価値化によって経済・社会の活性化を図り、それによって「知的財産立国」を実現することを目指している。

本講演では、知的財産権のうち特許について述べるとともに、特許の検索・申請方法や「(社)日本発明協会」、「北海道知的財産情報センター」の活動について紹介する。

#### ■技術交流研究会について

技術交流研究会は、昨年の6月に工業技術研究会から数えて第100回を迎えました。

我が研究会は、恐らく北海道支部、北海道技術士センターの研究会のなかで最も平均年齢(61.8歳)の高い研究会だと思います(平成18年3月現在)。

会員の最高齢は、応用理学部門の佐々木敏雄さんで86歳、次いで化学部門の三井さんが84才です。

また、毎回研究会に参加されている会員では82才の能勢さん、79才の菱川さんがおられます。

本研究会では、毎回参加費をいただいているのですが、70歳以上の方は無料になっています。

技術交流研究会は、200回を目指して活動を続けていますが、今年度からは以前のスタイルに戻して6月、12月には講演会を開催し、9月、3月には会員による話題提供を行っていききたいと思います。

70歳以上の会員の方でまだ話題提供されていない方がおられますので、優先的に発表していただきたいと思っています。

この発表を通じて、少しでも技術の伝承、暗黙知の継承を行っていただければと思っています。

今後も、EPOを通じて研究会の案内をいたしますので、多くの方に参加していただきたいと思っています。

また、日本技術士会会員の方であればどなたでもいつでも入会できますので、(社)日本技術士会北海道支部事務局までご連絡ください。

次回の技術交流研究会は、9月7日(木)に開催し、会員による話題提供を2題予定しています。時間は15:00から30分間情報交換を行い、その後、1時間ずつお話していただく予定です。

また、近くなったら詳しくご案内いたします。

(文責: 技術交流研究会幹事 吉野 大仁)